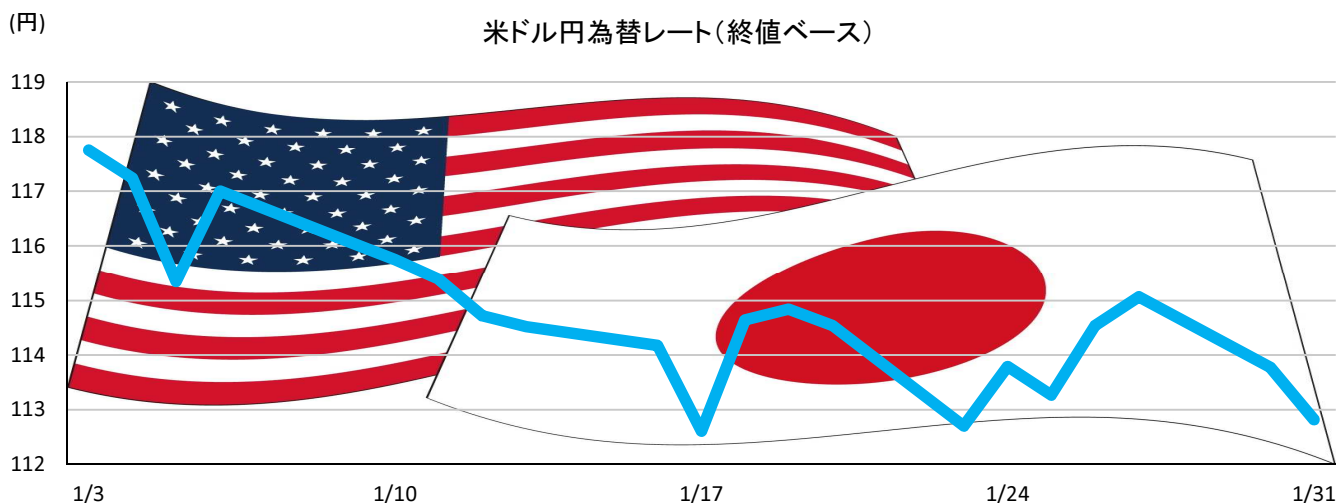


MARKET REVIEW

先月の振り返り: 1月のドル円相場は、118円半ば～112円前半で推移。トランプ氏の発言による期待感で動いていたドル高相場も米大統領就任式に向けてポジション調整の意味合いが強くなっていった。米雇用統計の結果が良く一時ドル高の流れになりかけたが、トランプ氏の発言でドル売りが強まったことやイギリスのメイ首相がハードブレグジット懸念を示したことでリスクオフムードが台頭したことも大きかった。トランプ氏は大統領に就任するとこれまでの発言をさっそく実行に移してきたが、米国の保護主義懸念という面に焦点が当たり、さらに為替市場において日本が名指しで非難されたこともあり、円高ドル安の流れが作られていった。ただNYダウ2万ドル越えや規制緩和といった材料でドル高になるなど、一進一退の動きとなった。



EXTRA VISION

今後の展開: 昨年末まで続いていたドル高相場は一転してドル安相場の流れとなった。先月にも少し触れたが、トランプ大統領による政策の影の部分が表に出てきたこともあるが、円安を良しとしない発言もあり一気にドル高調整ムードに変わってしまった。トランプ氏は大統領に就任したら多少おとなしくなるのではと思われた。その言動はさらに過激になってきているようだが、FRBが利上げを検討していることから中長期的にはドル高基調ともいえる。しかし、トランプ大統領の言動やブレグジットリスクなど一筋縄ではいかない問題が控えている。ただ間違えてはいけないのはトランプ大統領の政策は米国景気を良くするのが目的であるため、言動等に惑わされることなく本質を見ていくことが大事だろう。

今月の主な経済指標 ※ 日本時間

日付	時間	国	指標名	重要度
2 / 15 (木)	22 : 30	US	消費者物価指数 (CPI)	☆☆☆☆
2 / 25 (土)	0 : 00	US	新築住宅販売件数	☆☆☆☆
2 / 28 (火)	22 : 30	US	米GDP改定値	☆☆☆☆
3 / 9 (木)	21 : 45	EU	ECB政策金利発表	☆☆☆☆☆
3 / 10 (金)	22 : 30	US	米雇用統計	☆☆☆☆☆
3 / 16 (木)	3 : 00	US	米連邦公開市場委員会 (FOMC)	☆☆☆☆☆
3 / 16 (木)	** : **	JP	日銀金融政策決定会合	☆☆☆☆